

# 平成30年度会計決算



	歳入 (A)	歳出 (B)	繰越明許費 繰越額(C)*	実質収支額 (A-B-C)
一般会計	458億 4791 万円	420億 6449 万円	13億 1505 万円	24億 6837 万円
特別会計	310億 556 万円	303億 7720 万円	1000 万円	6億 1836 万円
合計	768億 5347 万円	724億 4169 万円	13億 2505 万円	30億 8673 万円

※繰越明許費繰越額とは、年度中に支出が終わらないと見込まれる金額を、予め議決を得て、翌年度に繰越して支出できるようにすること



QRコード  
平成30年度決算内容の詳細が  
確認できます

公 営 事 業 会 計				
水道事業	区 分	収 入	費 用	実質収支額
	※1	収益的収支	20億5601万円	17億1286万円
※2	資本的収支	1億4260万円	11億4179万円	▲9億9919万円
病院事業	区 分	収 入	費 用	実質収支額
	※1	収益的収支	85億4153万円	96億5870万円
※2	資本的収支	10億3525万円	17億5276万円	▲7億1751万円

※1 収益的収支…事業活動に伴って生じる収入と支出

※2 資本的収支…機器などの資産の購入・売却による収入と支出



▲松永孝男 決算審査特別委員長

## 【松永 孝男 決算審査特別委員会委員長のコメント】

9月30日の決算説明会、10月1日、2日の決算審査特別委員会では中心市街地の整備、子ども子育て支援、朝霧地区の糞尿対策と地下水保全など活発な質疑応答がありました。

全般的には市民の要望にこたえながらも事業の選択と集中により限られた財源を効果的に活用し、24億7千万円の黒字決算であったことは大いに評価できます。今後、益々少子高齢化が進み本格的な人口減少社会の到来する中で、市民の安心安全を守りながら未来に対して明るい希望の持てる予算執行を期待します。

## Check! 議会(議員)の視点はこうだ!!

### 【賛成討論】 若林 志津子 議員

日本共産党議員団は、平成30年度富士宮市歳入歳出決算認定に賛成しました。

賛成の理由は歳入歳出も概ね良好に実施されているためです。事業別には、

- ・世界遺産のまちづくりや空き店舗対策の効果が出ていること。
- ・子どもに関する医療費助成制度、放課後児童クラブ建て替え等が実施されたこと。
- ・住宅リフォーム宮クーポン事業は、経済効果は19.5倍との結果となったこと。など市民生活に直結し市民要望に沿った事業と評価させていただきました。

### 【賛成討論】 細沢 覚 議員

我が国の経済は政府による経済政策のもと、回復基調が観測されましたが市民生活においては実感を得ていません。富士宮市においては、富士山世界遺産センターのオープンで入場者が9万人を超える中で平成30年度が始まりました。平成30年度は第5次富士宮市総合計画の3年目でさまざまな事業が執行されました。

水を活かした事業、神田川沿いのライトアップ、農村コミュニティ支援事業、健康福祉の子育て環境整備、教育文化の面では小規模校連携事業、中学校タブレット配備等、都市整備の面、市民生活の面の整備、最後に財政面での堅実な財政運営がなされました。今後、市民生活の安定、また市政の発展を目指し積極的で堅実な財政運営を望み賛成討論とします。